

略語集

ADS	Automatic Depressurization System	自動減圧系
AM	Accident Management	アクシデントマネジメント
AO 弁	Air Operated Valve	空気作動弁
APD	Alarm Pocket Dosimeter	警報付ポケット線量計
ASW	Auxiliary Sea Water System	補機冷却海水系
BAF	Bottom of Active Fuel	有効燃料下端
BWR	Boiling Water Reactor	沸騰水型原子炉
CCS	Containment Cooling System	格納容器冷却系
CRD	Control Rod Drive	制御棒駆動機構
CS	Core Spray system	炉心スプレイ系
CST	Condensate Storage Tank	復水貯蔵タンク
CWP	Circulating Water Pump	循環水ポンプ
D/D FP	Diesel Driven Fire Pump	ディーゼル駆動消火ポンプ
DG	Diesel Generator	ディーゼル発電機
D/W	Drywell	ドライウエル
DWC	Drywell Cooling System	ドライウエル冷却系
ECCS	Emergency Core Cooling System	非常用炉心冷却系
EECW	Emergency Equipment Cooling Water system	非常用補機冷却系
FCS	Flammability Control System	可燃性ガス濃度制御系
FP	Fire Protection system	消火系
FPC	Fuel Pool Cooling and Filtering system	燃料プール冷却浄化系
HPCI	High Pressure Coolant Injection System	高圧注水系
HPCS	High Pressure Core Spray System	高圧炉心スプレイ系
HPCW	HPCS Closed Cooling Sea Water System	高圧炉心スプレイ冷却海水系
IA	Instrument Air-System	計装用圧縮空気系
IC	Isolation Condenser	非常用復水器
ITV	Industrial Television	工業用テレビ設備
M/C	Metal-Clad Switch Gear	金属閉鎖配電盤（メタクラ）
MCC	Motor Control Center	モータコントロールセンタ
MCR	Main Control Room	中央制御室
MO 弁	Motor Operated Valve	電動弁
MP	Monitoring Post	モニタリングポスト
MSIV	Main Steam Isolation Valve	主蒸気隔離弁
MUWC	Make-Up Water System (Condensated)	復水補給水系
MUWP	Make-Up Water system (Purified)	純水補給水系
O.P.		小名浜港工事基準面

P/C	Power Center	パワーセンター
PCIS	Primary Containment Isolation System	原子炉格納容器隔離系
PCV	Primary Containment Vessel	原子炉格納容器
PSA	Probabilistic Safety Analysis	確率論的安全評価
PWR	Pressurized Water Reactor	加圧水型原子炉
R/B	Reactor Building	原子炉建屋
RCIC	Reactor Core Isolation Cooling System	原子炉隔離時冷却系
RCW	Reactor Building Closed Cooling Water System	原子炉補機冷却系
RHR	Residual Heat Removal System	残留熱除去系
RHRC	RHR Cooling Water System	残留熱除去機器冷却系
RHRS	RHR Sea Water System	残留熱除去機器冷却海水系
RPV	Reactor Pressure Vessel	原子炉圧力容器
RSW	Reactor Building Closed Cooling Sea Water System	原子炉補機冷却海水系
S/C	Suppression Chamber	圧力抑制室
S/P	Suppression Pool	サプレッションプール
SA	Severe Accident	シビアアクシデント（過酷事故）
SBO	Station Black Out	全交流電源喪失
SFP	Spent Fuel Pit (Cooling System)	使用済燃料貯蔵プール
SGTS	Stand-By Gas Treatment System	非常用ガス処理系
SHC	Shutdown Cooling System	原子炉停止時冷却系
SLC	Stand-by Liquid Control	ほう酸水注入系
SRV	Safety Relief Valve	主蒸気逃がし安全弁
T/B	Turbine Building	タービン建屋
TAF	Top of Active Fuel	有効燃料頂部
TSW	Turbine Building Closed Cooling Water System	タービン補機冷却海水系
UHS	Ultimate Heat Sink	最終ヒートシンク

用語集

アクシデント マネジメント	(過酷事故対策) AM
設計基準事象を超え、炉心が大きく損傷する恐れのある事態が万一発生したとしても、現在の設計に含まれる安全余裕や安全設計上想定した本来の機能以外にも期待し得る機能またはそうした事態に備えて新規に設置した機器等を有効に活用することによって、それがシビアアクシデントに拡大するのを防止するため、もしくはシビアアクシデントに拡大した場合にもその影響を緩和するために採られる措置。	
圧力抑制室、サプレッションプール	S/C、S/P
沸騰水型原子炉（BWR）だけにある装置で、常時約 4,000m ³ （福島第二 2～4 号機の場合）の冷却水を保有しており、万一、原子炉圧力容器内の冷却水が何らかの事故で減少し、蒸気圧が高くなった場合、この蒸気をベント管等により圧力抑制室に導いて冷却し、圧力容器内の圧力を低下させる設備。また、非常用炉心冷却系の水源としても使用する。	
運用補助共用施設	
福島第一原子力発電所での共用の使用済燃料プール及び 2・4 号機の非常用ディーゼル発電設備を収納した建屋	
小名浜港工事基準面	O.P.
東京湾平均海面の下方 0.727m にある基準面	
オフサイトセンター	
原子力災害時には、国、都道府県、市町村等の関係者が一堂に会し、国の原子力災害現地対策本部、地方自治体の災害対策本部などが情報を共有しながら連携のとれた応急措置などを講じ、原子力防災対策活動を調整し円滑に推進するために、原子力災害対策特別措置法第 12 条第 1 項により主務大臣があらかじめ指定する施設。 法律上の名称は緊急事態応急対策拠点施設。	
温度降下率	
時間あたりの温度降下。	
加圧水型原子炉	PWR
減速材と冷却材として水を用い、高い圧力を加えて沸騰を抑える型式の原子炉。炉心で発生した熱を取り出す一次冷却系と、タービンへ送るための蒸気を発生する二次冷却系とは熱交換器（蒸気発生器）によって完全に分離されている。	
海水熱交換器建屋	
各種淡水冷却系の熱交換器に海水を供給するポンプや、熱交換器などを内包した建屋。	
開閉所	
発電所で発生した電力を電力系統へ送り出す、電力系統から発電所構内に引き込むために設置される中継基地。開閉器（スイッチ）で電力系統の開閉を行う。	
核種	
原子または原子核の種類を示すのに用いる用語。	
核種分析	
サンプルから放射性核種を特定すること。	
格納容器	PCV
原子炉圧力容器をはじめとする原子炉系機器、配管を内包する容器。この容器は原子炉系配管の破断事故（いわゆる冷却材喪失事故）時に生じる過渡圧力、温度に耐え、かつ事故後の	

<p>健全性を維持する必要がある、また事故時において容器からの放射性物質の漏えいをできる限り低く抑えるため気密性も有している。</p> <p>5重の障壁の一つ。</p>	
格納容器空調系	
=ドライウェルクーラ	
格納容器ベント	PCV ベント
<p>格納容器の圧力の異常上昇を防止し、格納容器を保護するため、放射性物質を含む格納容器内の気体（ほとんどが窒素）を一部外部に放出し、圧力を低下させる措置。</p>	
格納容器冷却海水系	
<p>格納容器冷却系の補機に海水を供給する系統。</p>	
格納容器冷却系	CCS
<p>冷却材喪失事故時に格納容器内に水をスプレーすることにより冷却材流出のエネルギー、燃料の崩壊熱を冷却して、格納容器圧力、温度を容器の最高使用温度以下とする装置。同時に格納容器内のよう素を除去し、格納容器外へ漏えいするよう素を低減する。</p>	
確率論的安全解析	PSA
<p>発生する可能性のある様々な事象について、その発生確率を考慮して安全性を評価すること。</p>	
過渡現象記録サーバ	
<p>プラント運転時の主要パラメータのデータを常時取込み、「手動またはあらかじめ設定された値を超えるか下回った事象が発生」すると自動的に事象発生前後のデータを収録し、事後の事象解析を支援する。</p>	
可燃限界	
<p>冷却材喪失事故時などにおいて、金属-水反応や水の放射線分解によって発生する水素と酸素がある濃度を超えると可燃現象を引き起こす限界点のこと。</p>	
下部プレナム	
<p>炉心の下方に存在する空間部分。通常運転時には、原子炉圧力容器内壁と炉心シュラウドの間を流下、または原子炉冷却材再循環系を通して流下してきた水が、ここで U ターンして炉心に流入し、冷却する。下部プレナム内には計装用案内管や制御棒案内管がある。</p>	
基準地震動 (Ss)	
<p>発電用原子炉施設の耐震設計で用いる地震動。敷地周辺の地質・地質構造並びに地震活動性等の地震学及び地震工学的見地から施設の供用期間中に極めてまれではあるが発生する可能性があり、施設に大きな影響を与えるおそれがあると想定することが適切なもの。「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」及び「震源を特定せず策定する地震動」について、敷地における解放基盤表面における水平方向及び鉛直方向の地震動としてそれぞれ策定する。この基準地震動 Ss による地震力に対して、耐震安全上重要な施設の安全機能が保持される必要がある。</p>	
基準面器	
<p>原子炉圧力容器内の水位を計測する際に基準とする圧力をとるために水を張ってある。</p>	
逆洗弁ピット	
<p>復水器細管を洗浄するために、細管内の海水の流れを逆にするための弁が設置されている場所</p>	
急速減圧	

<p>低圧系の非常用炉心冷却系により原子炉へ注水するために、主蒸気逃がし安全弁を手動で開することにより原子炉圧力を下げる操作。</p>	
給復水系	
<p>復水器により凝縮した復水を加圧・昇温し原子炉へ供給する系統。</p>	
金属-水反応	
<p>燃料被覆管などに使用されているジルコニウムが高温に熱せられると次第に周辺の冷却材である水と反応を起こして酸化する。この反応によって水素ガスが発生する。</p>	
空気作動弁	AO 弁
<p>圧縮空気によって作動する弁</p>	
計装用圧縮空気系	IA
<p>空気作動弁、空気制御器および計測器などで使用する清浄で乾燥した圧縮空気を供給する系統。</p>	
警報付ポケット線量計	APD
<p>半導体検出器を使用した、警報付個人放射線モニタ。着用者が従事した作業件名、作業時刻を記憶可能。</p>	
原災法	
<p>原子力災害対策特別措置法の略称</p>	
原子炉圧力容器	RPV
<p>原子炉の炉心、炉内構造物、一次冷却材などを収容し燃料の核反応により蒸気を発生する容器。</p>	
原子炉格納容器隔離系	PCIS
<p>燃料の損傷事故による圧力容器の隔離、格納容器外での一次系破断事故に対して放射性物質および冷却材の放出を防止するように原子炉圧力容器と破断箇所間の隔離弁の閉止、格納容器内の一次系の破断事故に対して、格納容器からの放射性物質放出ルートを開とし、格納容器内に封じ込めるように作動する。</p>	
原子炉隔離時冷却系	RCIC
<p>通常運転中何らかの原因で主蒸気隔離弁の閉等により主復水器が使用できなくなった場合、原子炉の蒸気でタービン駆動ポンプを運転して冷却水を原子炉に注水し、燃料の崩壊熱を除去し減圧する。また、給水系の故障時などに、補助給水ポンプとして使用し、原子炉の水位を維持する。原子炉から発生する蒸気を駆動源とするため、一定の原子炉圧力がないと運転ができない。水源は復水貯蔵タンクとサプレッションプールのどちらか。タービン駆動後の蒸気はサプレッションプールに排出されるため、この系統の運転時にはサプレッションチェンバ、サプレッションプールの温度が上昇する。そのため、残留熱除去系と連携運転し、温度の上昇を防止する必要がある。</p>	
原子炉建屋	R/B
<p>原子炉およびその関連施設を収容する建屋。放射性物質を閉じ込める 5 重の障壁の一つ。</p>	
原子炉停止時冷却系	SHC
原子炉停止時冷却モード	
<p>原子炉を停止した後、ポンプと熱交換器を利用して冷却材（炉水）を冷却し、崩壊熱を除去するための設備。原子炉を冷温停止する能力を有し、ポンプ流量・熱交換器能力ともに高い。（福島第一 1 号機以外の他号機は、RHR 系に本冷却機能「原子炉停止時冷却モード」を有している。）</p>	

原子炉補機冷却海水系	RSW
原子炉補機冷却系の冷却水は熱交換器を介して冷却している。この原子炉補機冷却系の冷却水を冷却するために海水を供給する系統。	
原子炉補機冷却系	RCW
補機冷却系の一つ。原子炉関連の常用補機の冷却系、あるいは原子炉関連の常用補機と非常用補機の冷却をかねる冷却系。	
原子炉モードスイッチ	
原子炉の状態に応じたインターロックを選択するための切替器。 モードとして「運転」「起動」「停止」「燃料取替」。	
原子炉冷却材圧力バウンダリ	
原子炉の通常運転時に原子炉冷却材を内包し、原子炉と同様の圧力条件となり、かつ一次冷却系の圧力障壁を形成するもので、それが破損すると冷却材喪失事故となる範囲をいう。通常、原子炉圧力容器、一次系配管などが含まれるが、冷却材喪失事故時に隔離される部分は該当しない。	
高圧炉心スプレイ系	HPCS
非常用炉心冷却系の一つで、原子炉圧力が急激に下がらないような事故時、独立した電源（ディーゼル発電機）を持ち、電動機駆動の高圧ポンプにより炉心にスプレイし冷却を行う系統。	
高圧炉心スプレイ冷却海水系	HPCW
高圧炉心スプレイ系のモータ冷却器や軸受の冷却、油冷却器に淡水冷却水を循環供給する設備の熱交換器に海水を供給する系統。	
高圧注水系	HPCI
非常用炉心冷却系の一つで、配管等の破断が比較的小さく、原子炉圧力が急激には下がらないような事故時、蒸気タービン駆動の高圧ポンプで、原子炉に冷却水を注入する系統。ポンプの流量（＝能力）は原子炉隔離時冷却系に比べて約 10 倍と大きい、原子炉停止時冷却系、残留熱除去系（約 1800m ³ /h、福島第一 2 号機～5 号機の場合）に比べると小さい。福島第一 1 号機～5 号機に設置されている。	
高圧炉心冷却機能	
高圧炉心スプレイ系、高圧炉心注水系などの高圧の炉心冷却機能。	
工学的安全施設	
原子炉施設の破損、故障などに起因して原子炉内の燃料の破損などによる多量の放射性物質の放散の可能性がある場合に、これらを抑制または防止するための機能を備えるよう設計された施設をいう。工学的安全施設には非常用炉心冷却系、格納容器（隔離弁を含む）および格納容器雰囲気浄化系（非常用ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系）が含まれる	
工業用テレビ設備	ITV
発電所運転員の被ばく低減、作業監視および放射性流体の漏えい監視、現場制御盤の警報監視、冬季における取水設備の状況監視等を目的として設置されたテレビカメラ。産業界一般に、現場監視のために設置されているカメラを総称して ITV と呼んでいる。	
サーベイ	
放射線の有無、強弱を探查すること。	
最終ヒートシンク	UHS
燃料から発生する熱（崩壊熱）や機器の運転により発生する熱を除去し放出する最終的な熱の逃し場。通常、熱交換器を介して海水による熱除去を行う。	

最大応答加速度	
構造物に地震動が作用した場合の当該構造物の揺れ（応答）の加速度最大値。	
残留熱除去機器冷却海水系	RHRS
残留熱除去系の冷却水は熱交換器を介して冷却している。この残留熱除去系の冷却水を冷却するために海水を供給する系統	
残留熱除去機器冷却系	RHRC
残留熱除去系熱交換器、残留熱除去系ポンプと低圧炉心スプレイ系ポンプのメカニカルシール冷却器などに淡水の冷却水を供給する系統。	
残留熱除去系	RHR
原子炉を停止した後に、炉心より発生する崩壊熱および顕熱を除去・冷却するための系統。弁の構成によって以下の運転モードとして使用する。 停止時冷却系、低圧注水系、格納容器スプレイ系、サブプレッションプール冷却モード、使用済燃料貯蔵プール冷却モード。 過酷事故対策である代替注水は残留熱除去系の配管を利用して原子炉や格納容器に注水する場合が多い。	
自動減圧系	ADS
非常用炉心冷却系の一つで、高圧炉心スプレイ系または高圧注水系の後備装置をいう。主蒸気管に設けた主蒸気逃がし安全弁を開放することにより、原子炉圧力を低下させ、低圧注入系などによる注水を促進することを目的とする。	
シビアアクシデント（過酷事故）	
設計基準事象を大幅に超える事象であって、安全設計の評価上想定された手段では適切な炉心の冷却または反応度の制御ができない状態であり、その結果炉心の重大な損傷に至る事象。過酷事故の重大さは、その損傷の程度や格納施設の健全性の喪失の程度による。	
シミュレータ訓練	
計算機を用いて過渡・事象を模擬し、安全に原子炉を停止させる訓練。	
主蒸気隔離弁	MSIV
主蒸気管に設置される弁であってこの弁が閉じることによって原子炉を必要に応じタービン設備から隔離する。	
主蒸気逃がし安全弁	SRV
原子炉圧力が異常上昇した場合、原子炉圧力容器保護のため、自動あるいは中央制御室で手動により蒸気を圧力抑制プールに逃す弁（逃した蒸気は圧力抑制プール水で冷やされ凝縮する）で、他に非常用炉心冷却系（ECCS：Emergency Core Cooling System）の自動減圧装置（ADS：Automatic Depressurization System）としての機能も持っている。	
受電用遮断器	
送電網に事故が起きたとき、事故回線を切り離す装置。	
シュラウド	
炉心部を構成する燃料集合体や制御棒を内部に収容する円筒状の構造物。	
循環水ポンプ	CWP
主タービンで仕事をした蒸気は主復水器で冷却凝縮される。その冷却水として海水が使用されるが、この海水系統（循環水系）に使われる海水を送り込むためのポンプ。	
純水タンク	
河川やダムから取水した水を純水装置に通して得られた純水を貯蔵するタンク。水質管理さ	

れた水が必要な系統に用いられる。	
純水補給水系	MUWP
各建屋内および付帯設備などに設置される機器、配管および弁などに対して、発電所の円滑な運転および保守を行うために必要な容量および圧力を有する純水を供給する系統。	
消火系ライン	FP
発電所内の消火系統。通常の消火栓の他、油火災のための炭酸ガス消火系などがある。	
使用済燃料貯蔵プール	SFP
原子炉から取り出した燃料を保管するプール。使用済燃料の他に、定期検査のために取り出した燃料や中性子源、破損燃料などが保存される。水により生体遮蔽するとともに崩壊熱の除去も行う。水質の管理については使用済燃料貯蔵プール冷却浄化系によって行う。	
常用系	
通常使用する系統。	
除塵装置	
海水を取水した際に含まれるゴミを取り除く装置。	
所内電源	
発電所内の機器などに供給される交流電源。	
ジルコニウム-水反応	
金属-水反応と同様。燃料被覆管等に使用されているジルコニウムが高温に熱せられると、次第に冷却材である水と反応を起こして酸化する、酸化したジルコニウム被覆管は脆化し、水素を発生する。	
スキマーレベル	
スキマサージタンク水位。使用済燃料貯蔵プールの上澄みはスキマ堰をオーバーフローし、スキマサージタンクへ導かれる。使用済燃料貯蔵プール冷却浄化系ポンプの吸込圧力を確保するとともに、プール水面の浮遊物を除去することによりプールの水質維持を図る。	
スクラム	
原子炉に設けられた検出器の信号が原子炉の運転条件の限界範囲を超えた場合に、原子炉に自動的に負の反応度を加えて速やかに停止することを言う。普通は原子炉の安全装置により自動的に起こる。スクラムを起こすためのあらかじめ定めた条件をスクラム条件と言い、原子炉出力の異常増加、地震加速度やタービントリップなどが設定されている。 緊急停止の総称。	
スペクトル	
一般に複雑な組成をもつものを成分に分解し、その成分をそれを特徴づける量の大小の順に従って並べたものをいう。	
制御棒駆動水機構	CRD
制御棒を炉心に出し入れするための装置。BWR では水圧駆動方式が一般に用いられている。（改良型 BWR では電動駆動も併用している）	
セルフエアセット	
呼吸保護具 の 1 つで、携行ボンベから空気を供給するタイプ。空気中の放射性物質濃度が高い場所で放射性物質の吸入を防止するために使用する。	
全交流電源喪失	SBO
発電所に必要な動力源である交流電源がなんらかの影響で喪失した状態。交流電源の供給には外部電源、非常用ディーゼル発電設備がある。	

全電源喪失	
交流電源、直流電源ともに喪失した状態。	
全面マスク	
浄化式呼吸保護具の一つで顔全体をカバーするもの。	
タービン建屋	T/B
主タービン、発電機、主復水器、原子炉給水ポンプ及びタービン補機等を収納する建屋。	
タービン補機冷却海水系	TSW
タービン補機の軸受や油冷却器、空調機器などを循環淡水冷却するタービン補機冷却系の熱交換器に海水を供給する系統。	
耐圧強化ベント	
過酷事故対策として整備された耐圧性の高い格納容器ベントライン。 D/W と S/C の 2 つのベントラインがあり、それぞれのラインに AO 弁の大弁、小弁がある。 2 つのラインの合流後に MO 弁とラプチャーディスクがあり、その先は排気筒に繋がっている。本報告書の格納容器ベントはこの耐圧強化ベントラインからのベントを記載している。	
耐火服	
燃えにくい服。	
耐震クラス	
耐震設計上の重要度分類にて定められた施設重要度に応じたクラス。	
代替格納容器スプレイ	
既設の復水補給水系及び消火水系の水源及びポンプを有効活用した格納容器へのスプレイ機能のこと。	
代替制御棒挿入	
既存の原子炉停止系とは別に設置した計測制御系により異常(原子炉圧力高、原子炉水位低)を検知し、自動で制御棒を挿入し原子炉を停止させること。	
代替注水	
非常用炉心冷却系がなんらかの原因で機能しないときに、代わりに注水や除熱を行う。本来の機能に応じて圧力の高い原子炉への注水、格納容器の冷却などがある。高圧の原子炉への代替注水系としては制御棒駆動水系、原子炉冷却材浄化系がある。格納容器の冷却機能としては復水補給水系、消火系、ドライウェルクーラ、格納容器冷却系がある。	
代替反応度制御	
RPS 信号を用いて、原子炉水位と原子炉圧力によって再循環ポンプトリップと制御棒挿入を行う	
ダクト	
主に気体の通路、水やガスの流路となる。	
多重性	
同一の機能を有する同一の性質の系統または機器が二つ以上あること。	
断路器	
点検などの作業の際に、安全のために回路を切り離す装置。遮断能力はもともと弱く、基本的に負荷電流は開閉できない。遮断器が開いている以外は操作できないようにインタロックがついている。	
チャコールフィルタ	

放射性ヨウ素を除去するため、粒状活性炭を充填したフィルタ。活性炭によるヨウ素の除去は、物理吸着によって行われるが、ヨウ化メチルなど吸着しにくいヨウ素化合物に対しては、化学反応によるヨウ素の捕集を行うため、科学物質が活性炭に添着されることが多い。	
中央制御室	MCR、中操
プラント主系統の運転に必要な監視および操作装置を集中化した中央制御盤が設置され、運転員が監視、制御および操作を集中的に行う部室。	
中央制御室換気空調系	
原子炉建屋内で放射性物質漏えい事故が発生した時、自動的に中央制御室と外気を隔離すると共に、中央制御室内の空気を再循環しながら、中央制御室の環境を清浄に保つための系統。	
低圧炉心冷却機能	
低圧系の非常用炉心冷却系。低圧炉心注水系、低圧炉心注入系、低圧炉心スプレイ系など。	
ディーゼル駆動消火ポンプ	D/D FP
消火系に設置されたディーゼル機関で駆動するポンプ。消火系の圧力の低下時、電動機駆動消火ポンプが運転できないときに自動起動する。	
ディーゼル発電設備	DG
発電所の通常電源喪失時に発電所を安全に停止するのに必要な設備に動力を供給する発電機。ディーゼルエンジンで駆動する。	
定格電気出力一定運転	
電気出力を一定に保ち運転する方法。	
定格熱出力一定運転	
原子炉の熱出力を一定に保ち運転する方法で、海水温度等環境条件によって電気出力が変動する。	
電磁弁	
電磁力により開閉させる弁	
電動駆動弁	MO 弁
弁駆動部を電動機によって動かし開閉する弁	
トーラス室	
非常用炉心冷却系の水源として用いる水を擁する大きなドーナツ状のトンネル（サブプレッションチェンバ）を収納する部屋。この形状をトーラス形状ということから、これを収納する部屋をトーラス室と言う。トーラス室にはサブプレッションチェンバ以外の配管等も配置されている。トーラス室は原子炉格納容器の下部に、同容器を囲む様に配置される。	
独立性	
運転するためのシステムと安全を確保するためのシステムは、それぞれ独立した設計とし、一方の故障が他方に影響しないようにすること。	
ドライウエル	D/W
原子炉格納容器内の圧力抑制室(S/C)を除く空間部	
ドライウエルクーラー	DWC
原子炉運転中、ドライウエルの冷却を行い、定期検査中も格納容器内温度が過酷とにならないように冷却する設備。	
トレンチ	
建屋間に配管ケーブルを敷設するために設けたトンネル	
熱電対	

<p>温度差を測定するセンサ。異なる二種の金属を接合すると、それぞれの熱電能の違いから 2 つの接合点を異なる温度に応じた電圧が発生し一定の方向に電流が流れる。異種金属の 2 接点間の温度差によって熱起電力が生じる現象（ゼーベック効果）を利用した温度センサである。</p>	
燃料デイトンク	
<p>非常用ディーゼル発電機の燃料である軽油は、屋外の軽油タンクから非常用ディーゼル発電機の設置されている建屋内の燃料デイトンクに移送され供給される。それぞれのタンクは確保すべき必要貯蔵量が運転時間に応じて保安規定で定められている。</p>	
燃料被覆管	
<p>燃料棒の被覆材として使用する薄肉円管。ジルコニウム合金やステンレス鋼の円管が用いられる。燃料被覆管は、燃料と冷却材の間に介在して燃料の健全性を保つ上に重要な役割を持っている。5 重の障壁の一つ。1800℃に達すると熔融する。</p>	
燃料プール冷却浄化系	FPC
<p>原子炉から取出した燃料体は、内包している核分裂生成物などから熱および放射能が出ているため、燃料プールで冷却する必要がある。このプール水を冷却しながら不純物を取り除き水質を保つ浄化系統。</p>	
排気筒	
<p>放射性気体廃棄物を大気中に放出拡散することを目的とした施設。放射性気体廃棄物は、法令の規定するところにより、所定の放出量以下に低減処理され、排気筒から大気放出される。</p>	
パワーセンタ	P/C
<p>電源電圧 600V 以下の中容量の電動機負荷やモータコントロールセンタ負荷などを集中して一箇所で制御する装置で、気中遮断器や保護装置を一つのユニットに収め、このユニットを集めて一つの盤としたもの。</p>	
B 装備	
<p>放射線物質に汚染する可能性のあるエリアに立ち入る際に着用する装備の一種。</p>	
ヒートシンク	
<p>除熱（放熱）機能を担保する冷却源。</p>	
非常用ガス処理系	SGTS
<p>工学的安全施設の一つで、原子炉建屋内で放射性物質漏えい事故が発生した時、自動的に常用換気系を閉鎖すると共に、原子炉建屋内を負圧に保ちながら、建屋内の放射性よう素や粒子状放射性物質の外部放出を低減する装置。</p>	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	EECW
<p>各種非常用機器が原子炉冷却材喪失事故などにおいて要求される機能を維持できるように、非常用ディーゼル発電設備、非常用空調機器などの冷却器に淡水冷却水を供給する設備（残留熱除去ポンプモータへも冷却水を供給）</p>	
非常用復水器	IC
<p>沸騰水型軽水炉の原子炉隔離時における原子炉の除熱装置。原子炉蒸気を二次側の水により冷却し、復水として自然循環により原子炉に戻すもの。（福島第一 1 号機、敦賀 1 号機のみ）に設置）</p>	
非常用炉心冷却系	ECCS
<p>原子炉に冷却材喪失事故が起こったときにも炉心を有効に冷却する工学的安全施設。原子炉の一次冷却系のいかなる大きさの配管破断に対しても炉心を冷却できる容量を有している。</p>	

<p>BWR では高圧炉心スプレイ系、高圧注水系、低圧炉心スプレイ系、低圧注入系および自動減圧系からなる。（改良型 BWR では原子炉隔離時冷却系も ECCS としている）</p>	
プールゲート	
<p>使用済燃料貯蔵プール、原子炉ウエル、気水分離器プールを仕切るゲート。 定期検査時に、原子炉圧力容器のふたを外し、気水分離器などの炉内構造物を気水分離器プールに、装荷されている燃料を使用済燃料貯蔵プールへ移動させるが、その際に各機器は線量が非常に高いため、各プール間を水で満たし生体遮蔽を確保しつつ水中を移動させる。</p>	
フェールセーフ	
<p>失敗があっても安全であること。装置の一部が故障したり、安全保護装置の働きに異常が生じてても、装置の本来の機能を危険に陥れることなく、安全な状態になるように設計されている状態をいう。</p>	
復水器	
<p>蒸気タービン内で作動し終わった水蒸気を冷却凝縮する海水冷却器。得られる高度の真空により、蒸気タービン駆動蒸気の終圧が下げられ、熱落差を大きくする役目をして蒸気タービンの効率を改善する。</p>	
復水貯蔵タンク	CST
<p>復水系の水を貯蔵するタンク。復水の補給、復水余剰水や補充水などの貯蔵に用いられる。BWR では非常用炉心冷却系の水源としても用いられる。</p>	
復水補給水系	MUWC
<p>発電所の運転に必要なさまざまな水（水源は復水貯蔵タンク、基本的には原子炉などで使われた水を浄化したもので、若干の放射能を含むがその濃度は低い）をポンプ（復水移送ポンプ）を利用して供給する系統。非常用ではないが、アクシデントマネジメント上では原子炉への注水に利用する。ポンプの流量は原子炉隔離時冷却系より小さい（約 70m³/h）</p>	
沸騰水型原子炉	BWR
<p>核燃料には主として濃縮ウランを用い、減速材および冷却材として水を用いて、水蒸気を熱交換器を通さずにそのまま蒸気タービンに送られる。蒸気タービンには放射性物質を含有する蒸気が送られる。</p>	
フラッシング	
<p>配管内の放射性物質を清浄な水で洗い流し、線量等の低減を図ること。</p>	
プロセス計算機	
<p>プロセス制御やプロセス量の監視、管理、演算処理を行う計算機。プラントプロセス量との結合は、プロセス入出力装置を介して行われ、高稼働率、実効性が要求され、一般に高信頼度を有する計算機が使用される。原子力発電所では、プロセス量の監視、炉心性能計算、プラント性能計算を行うために設置されており、プラント運転補助機能を有したシステムとして適用されることが多く、診断機能なども組み込まれている。</p>	
ページング	
<p>所内各箇所設置されたハンドセットステーションとスピーカで構成された、所内連絡用設備。操作が簡単で、高騒音環境下でも明瞭な放送及び通話ができる。</p>	
ペレット	
<p>核分裂性物質を含んだ高密度に固められた小さな円柱状成型物。5重の障壁の一つ。一般には酸化物を強い圧力のもとで圧縮し、続いて焼結してセラミックス質にしたものをいう。積み重ねて被覆管に挿入したものが燃料棒になる。</p>	

ベントラインナップ	
ベントするための系統構成	
ボイド	
沸騰した際に生じる気泡	
崩壊熱	
放射性物質の原子核が自然発生的に他の原子核に変わる現象によって生ずる熱。	
ほう酸水注入系	SLC
原子炉運転中、何らかの原因で制御棒の挿入ができない場合に、中性子吸収能力の高い五ほう酸ナトリウム溶液を注入して原子炉を停止させる制御棒駆動系の後備系統。	
補機冷却海水系	ASW
発電所内の各種プロセス熱交換器、軸受冷却器、空調機器などに淡水冷却水を循環供給する設備の熱交換器に海水を供給する系統。	
水の放射線分解	
電離放射線の照射により水が分解され水素や酸素が発生する。	
(原子炉) 未臨界	
原子炉スクラム時、「止める」機能である制御棒の全挿入によって核分裂の連鎖反応が起こらない状態にする。未臨界とすることで原子炉は安全に停止となる。	
金属閉鎖配電盤 (メタクラ)	M/C
所内高電圧回路に使用される動力用電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。構成は常用、共通、非常用の3つから成っている。	
免震重要棟	
震災などの災害が発生した際に対策本部を設置する目的で建設された建物。免震重要棟は鉄筋コンクリート造で免震構造になっており、会議室、通信設備、電源設備、空調設備などが備わっている。震度7の地震が来ても、震災後の初動対応に支障を来たすことがないようになっている。	
モータコントロールセンタ	MCC
小容量の所内低電圧回路に使用する動力電源盤で、配線用遮断器、電磁接触器、保護継電器を各ユニットごとにコンパクトに収納したもの。構成は常用、共通、非常用の3つから成っている。	
モニタリングポスト	MP
発電所敷地周辺の数箇所に設置され、空間ガンマ線量率を測定している。移動しながら測定を行える車両をモニタリングカーという。	
物揚場	
発電所の港湾設備の一部。船により輸送してきた機器類をおろす場所。	
有効燃料下端	BAF
燃料集合体の最下端。	
有効燃料頂部	TAF
燃料域水位計の0点。燃料集合体のうちペレットが存在する一番上部をいう。	
ヨウ化セシウム	
組成式が CsI と表される無機化合物。アルカリ金属であるセシウムとハロゲンであるヨウ素からなる金属ハロゲン化合物である。科学分野での用途として、エックス線蛍光増管・ガンマ線検出用単結晶に用いられる。簡易放射線計測器の「はかるくん」にも使われている。	

放射性ヨウ素が原子炉内で生成される場合、炉心から格納容器内へは主に CsI として放出され、ほとんどが水に吸収される。	
ヨウ素剤	
<p>甲状腺は、ヨウ素を取り込み蓄積するという機能があるため、環境中に放出された放射性ヨウ素が体内に吸収されると、甲状腺で即座に甲状腺ホルモンに合成され、甲状腺組織の中で放射能を放出し続ける。その結果、放射能による甲状腺障害が起こり、晩発性の障害として甲状腺腫や甲状腺機能低下症を引き起こすとされている。</p> <p>これらの障害を防ぐためには、被ばくする前に放射能をもたないヨウ素を服用し、甲状腺をヨウ素で飽和しておくことにより、放射性ヨウ素により内部被ばくしても甲状腺には取り込まれず予防的効果が期待できる。</p>	
溶融燃料	
燃料集合体が高温になり溶けて塊になったもの。	
ラプチャーディスク	
<p>圧力容器・回転機器・配管系・ダクトなどの密閉された装置が 過剰圧力、または負圧にて破損することを防止するドーム状の金属薄板で、あらかじめ 設定された破裂圧力にて破裂し、装置内の異常圧力を放出する安全装置。</p>	
リーク	
漏えい。	
冷温停止	
炉水温度 100℃未満であり、原子炉モードスイッチが「起動」「停止」「燃料取替」の位置である状態。	
冷却材喪失事故	
原子炉の想定事故の一つ。原子炉圧力容器内の冷却材が配管の破損などにより流出し失われる事故。冷却材が原子炉圧力容器から喪失するため、燃料の冷却が十分にできなくなる。	
ろ過水	
河川やダムから取水した水を水処理し、発電所内用水として利用する。水質を重視しない系統で用いられる。	
炉心	
原子炉において、核燃料が存在し核分裂連鎖反応が起こりうる領域。核燃料と減速材から成って、その間を冷却材が通過する。	
炉心スプレイ系	CS
BWR の非常用炉心冷却系を構成する系統の一つ。冷却材喪失事故時に燃料上部に冷却水をスプレーして燃料を冷却する。	
炉内計装配管	
原子炉の制御、安全および状態監視に必要な原子炉内のプロセス量を計測する計装機器。炉内中性子計装、冷却材流量計装、制御棒位置計装などの総称。	